

行橋市立延永小学校学校通信
(2018年・平成30年度)

延小だより No.21

February 2月22日 発行

【学校目標】
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤 勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

本年度最後の学習参観・学級懇談会

2月8日(金)、学習参観・学級懇談会を行い、多くの保護者の皆様にご参加いただきました。まことにありがとうございました。この1年間の子どもたちの成長を見ていただけたでしょうか。どの学年の子どもたちも、いつも以上にがんばっていたと思います。本年度学んだことを活かして、来年度はさらに大きく飛躍してくれると信じています。

4年生は内田美智子先生を講師としてお招きしての親子講演会。6年生は親子で「陶芸」作りに挑戦しました



思いを込めたバルーンリリース～笑顔で、さんハイ!～

明治6(1873)年2月、二塚にある正受寺を教室にして、延永小学校は始まりました。(その当時は致道校という名称で、その後、いろいろと呼び名が変わりました。延永小学校となったのは昭和22年4月)

そして、本年(2018)度、創立145周年、卒業式も第130回を迎えるということで、記念事業の一環として、18日(月)に全校児童で、バルーンリリースを行いました。子どもたちは、自分がリリースしたバルーンをずっと目で追い、ニコニコ笑顔で、10分間の素敵なショーを満喫していました。(教室に帰る時もバルーンを名残惜しそうに見つめて

いるのが印象的でした) 実は、ドローンによる空撮(写真、映像)も行っていて、何らかの形で子どもたちに還元できたらと考えています。

このバルーンリリースに関しては、企画から前日・当日準備まですべて、PTA 役員の方々が中心となって行っていただきました。ほんとうにありがとうございました。この催しは、子どもたちの心に、思い出として、しっかりと刻まれたと思います。



【バルーンをもらい】



【所定の場所に】



【所定の場所に 2】



【見事な花が咲いてます】



【合い言葉でリリース】



【自分のバルーンは・・・】

* 昨日、四国・愛媛県喜多郡内子町でぶどう園を営まれている上田さんから「バルーンがつかました」という内容の心温まるお手紙をいただきました。(通信裏に載せてあります) 内子町の資料もつけてくださいました。ありがとうございます。

リリースしたその日のうちに160km移動したということです。

～ 延永小 “新” 家庭教育宣言(親子の約束) 調査から ～

1回目の“新”家庭教育宣言の取り組みを夏休み後に、そして、2回目を冬休み後に実施していただきましたが、集計結果が出ましたのでお知らせします。

項目	早寝	家庭学習(児童)	家庭学習(保護者)
達成率	69.3%	81.7%	90.6%
各項目の平均(5点満点)	3.47	4.09	4.53

1回目の集計結果と同じ傾向が見られました。「早寝」の達成率・平均点が、他の項目に比べ低かったです。感想欄にも、「早寝ができなかった」「早く寝かせることがたいへんだ」という記述が多く見られました。「早寝」が本校の課題のひとつと言えます。

規則正しい生活が、体力向上(健康)や学力向上に密接に関わっていることは、いろいろな調査からもわかっています。今後も「早寝(早起き朝ご飯)」の習慣化に向け、各家庭でのご協力よろしくお願ひします。

「子育て上手になる 魔法の言葉」(尾木直樹 セブン&アイ出版)

尾木ママです。再登場です。